

科目名称	乗馬療法技術概論
授業コード	AD348
英語名称	Introduction to Equine-Assisted Therapy
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	石井 孝弘
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	<p>動物介在療法を実施する際に感覚統合について理解しておくことは重要である。動物介在療法はその対象者の日常生活における困難さを解決する目的で行われる治療、療法である。</p> <p>対象者の抱えている問題点に対して、動物介在療法は主に動物とともに行う活動により得ることが可能な感覚刺激を脳が受容することが効果柄とつながる。この科目では動物とともに行う活動により得ることの感覚刺激がどのようなものがあり、その感覚刺激が脳に与える影響について理解を深める。</p> <p>主な対象となる動物は哺乳動物となる。その中でも人が乗ることが馬を中心に学ぶ。</p> <p>この授業を受講することで、動物介在療法において、人の脳に与える感覚刺激を考慮したプログラムの立案が可能となる。</p> <p>1.動物介在療法において感覚統合の知識を役立てる。 2.動物介在療法で用いられる感覚統合理論の概要を学ぶ。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>「実務経験のある教員による実践的科目」</p> <p>1、地域における障害児・者支援として、乗馬療法を行っている作業療法士による講義を行う。 2、馬のケア、心理学、調教、馴致などを海外学び日本の乗馬施設、ホースセラピー施設において実践を行っている講師による実践的科目</p>
到達目標	<p>カリキュラムポリシーに掲げる「人体の構造と機能及び心身の発達、疾病・障害の成り立ちと回復過程および保健医療福祉とリハビリテーションの理解などから作業療法の基礎知識を学ぶ、保健医療福祉などの臨床を体験し、知識・技能、専門職としての認識を高める」が実現するよう、動物介在療法において治療的要素である「感覚統合」の基本的な知識を身につける。</p> <p>1. 対象者に影響を及ぼす感覚刺激について理解し説明することができる。 2. 動物介在療法で用いられる動物との活動において受容可能な感覚刺激の概要を理解し、説明することができる。 3. 動物介在療法において感覚刺激を治療的要素として意識したプログラムの立案を行うことができる。</p> <p>研究者倫理に関する規範意識として、研究者の行動規範、遵守すべきことなど理解した上で研究に取り組むことができる。</p>
計画・内容	<p>予習：乗馬療法について</p> <p>1 乗馬療法技術概論 オリエンテーション</p> <p>復習・予習：乗馬療法技術概論 乗馬療法の対象</p> <p>2 乗馬療法の対象</p> <p>復習・予習：乗馬療法の対象 乗馬療法に使用される馬</p> <p>3 乗馬療法に使用される馬</p>